



# 第71期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

○ 株主の皆様へ

To Our Shareholders



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第71期上期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

2020年12月

代表取締役執行役員社長 竹内正人

## 上期事業環境について

当上期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で回復の兆しがみられるものの、依然として厳しい状況にあり、先行きも不透明な状況が続いております。

## 売上高の状況

当社企業グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症による設備投資の先送りの影響があるものの、接合機器は5G関連の海外向け製品が好調に推移し、赤外線機器は発熱者スクリーニング需要が引き続き堅調に推移しました結果、連結売上高は前年同期比14億35百万円増加の91億43百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

## 損益の状況

売上高が増加したことに加え、諸経費削減に努めたことから、営業損益は前年同期比6億99百万円改善の3億42百万円の利益、経常損益は前年同期比6億62百万円改善の2億85百万円の利益となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、営業損益および経常損益の改善等により、前年同期比7億21百万円改善の3億23百万円の利益となりました。

なお、日本電気株式会社からNAJホールディングス株式会社へ親会社の変更に伴い、昨年6月より、当社始まって以来の生え抜きの社長として、当社独自の考え方を中心に運営してまいりました。その成果が出始めていることもあり、上期決算も2015年度以来の黒字の確保ができました。

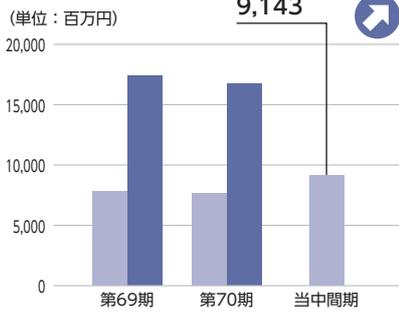
配当につきましては、誠に遺憾ながら普通株式中間配当金、第1種優先株式中間配当金および第2種優先株式中間配当金について無配とさせていただきますが、更なる収益力の向上をはかり、早期復配を目指して全社一丸となってまい進する所存であります。

株主の皆様におかれましては引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

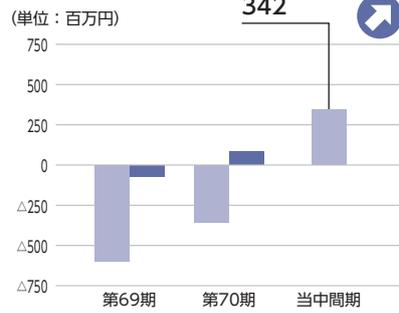
## 【当上期連結業績】

|                | 売上高                  | 営業損益                   | 経常損益                   | 親会社株主に帰属する四半期純損益       |
|----------------|----------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 当上期<br>(前年同期比) | 91億43百万円<br>(18.6%増) | 3億42百万円<br>(6億99百万円改善) | 2億85百万円<br>(6億62百万円改善) | 3億23百万円<br>(7億21百万円改善) |

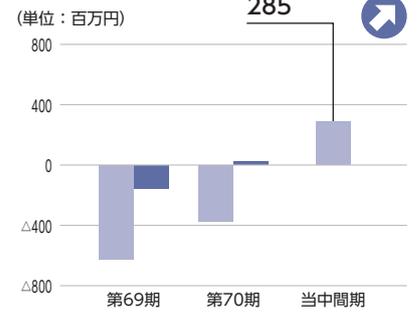
売上高



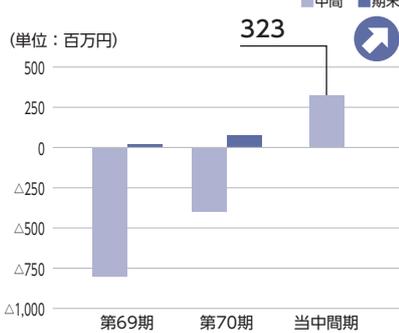
営業損益



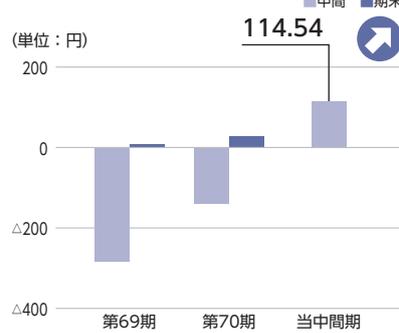
経常損益



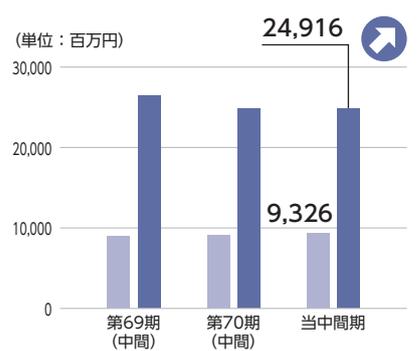
親会社株主に帰属する四半期純損益



1株当たり四半期純損益



純資産・総資産



○ セグメント別の概況

Review of Segments

連結売上高構成比



情報システム

連結売上高  
**55億96百万円**  
(前年同期比0.8%減)



防衛省の国内調達が低調に推移している影響により、売上は減少しました。

セグメント損益  
**△87百万円**  
(前年同期比15百万円改善)

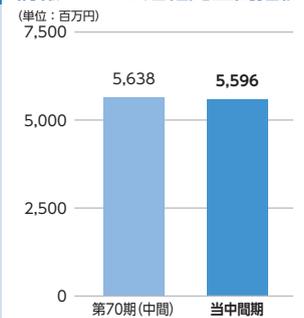


収益力向上のため、QCD (品質、コスト、納期) の改善活動に取り組んだ結果、セグメント損益は改善しました。

主要製品：表示・音響関連装置、誘導・搭載関連装置、指揮・統制関連装置、ハイブリッドIC



情報システム連結売上高推移



電子機器

連結売上高  
**35億47百万円**  
(前年同期比71.4%増)



新型コロナウイルス感染症による設備投資の先送りの影響があるものの、接合機器は5G関連の海外向け製品が好調に推移し、赤外線機器は発熱者スクリーニング需要が引続き堅調に推移しました。これらにより、売上高は増加しました。

セグメント損益  
**4億30百万円**  
(前年同期比6億83百万円改善)



売上の増加および諸経費削減の結果、セグメント損益は大幅に改善しました。

主要製品：接合機器、赤外線機器



電子機器連結売上高推移



## 5Gを背景にデジタル機器市場にて各種接合機器が好調 次世代に向け「異種材接合」の研究開発にて更なる社会貢献を目指す

当社は安定かつ信頼性の高い接合を実現するために、接合4工法（パルスヒート、抵抗溶接、超音波溶着、レーザー接合）を保有する、世界でも特長のある接合機器メーカーです。お客様の“つける”ニーズにワンストップ対応できる接合ソリューションを提案しています。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の影響で自動車市場が減速する中、5Gやテレワークの拡大を背景に、スマートフォンやPCなどのデジタル情報機器市場は活発化しています。それらで使用される様々な電子部品（チップコイル、カメラモジュール、水晶デバイス、光・半導体デバイス等）の需要拡大を受け、当社各種接合機器の受注はアジアを中心に好調に推移しています。

また、新たな取り組みとして「軽量化」「環境対応」などをキーワードに「異種材接合」「銅アルミ接合」をテーマに新たな接合工法の創出を目指しており、「異種材接合」では当社考案の表面処理方法とパルスヒート工法を使用した薬品等を使用しない（ドライプロセス）接合方法を発表し、多くの反響をいただきました。今後も“つける”をキーワードに、社会に貢献できる接合のリーディングカンパニーを目指して参ります。

### 接合4工法

抵抗溶接  
Resistance Weld

パルスヒート  
Pulse Heat

レーザー  
Laser

超音波  
Ultrasonic

電気

熱

振動

光

金属溶接  
Metal Welding

はんだ付け  
Soldering

樹脂溶着  
Plastic Welding

気密封止  
Hermetic Sealing

### デジタル情報機器向け部品

チップコイル

カメラモジュール

水晶デバイス

光・半導体デバイス

### 新たな取り組み

5Gスマホ関連

5G基地局関連

異種材接合  
(CFRTP(\*)とアルミ)  
※炭素繊維強化熱可塑性樹脂

銅アルミ接合  
(超音波接合)

## 赤外線サーモグラフィカメラは 感染症対策品として、様々な場所で採用 世の中の変化に対応しドローン搭載用カメラの研究開発にて更なる社会貢献を目指す

当社の赤外線サーモグラフィカメラは国内トップメーカーで約50年の実績があります。研究開発（R & D）からセキュリティ監視まで様々な分野で採用されております。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、感染症対策品として広く認知され、会社受付や工場、病院、公共施設、商業施設、競技場、テーマパーク、空港など数多くの場所で当社製品が採用されております。急激に増加した需要に対応し、製造ラインの増強により従来の3倍以上の生産能力を確保いたしました。10月には100gの小型・軽量・高性能カメラと独自アルゴリズムによる新製品（F50SA-FS）を発売。実際の運用シーンに適した様々な測定・監視モードを搭載し、入口などでのセルフチェックから、人の往来が多い場所での複数人チェックまで高精度で判定します。

また設備監視、診断の分野では世の中の変化に対応し、ドローン搭載用のカメラの研究を開始しました。国内トップメーカーとして更なる社会貢献を目指して参ります。

### サーモグラフィカメラアプリケーション

空港検疫 企業全般

スクリーニング

R & D

電機電子

火災監視

品質管理

自動車 鋳造金型管理

セキュリティ

故障診断

鉄鋼所 原子力発電所 火力発電所 活火山

鉄道 空港 重要施設

化学プラント 防爆エリア

### 【新製品 F50SA-FS】

- ・100gの小型高性能カメラ
- ・様々な運用シーンに適合
- ・静止モード（セルフチェック）
- ・ウォークスルーモード

## 会社の概況 (2020年9月30日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
  - 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
  - 設立 1960年4月8日
  - 資本金 58億95百万円
  - 従業員数 791名 (連結) 704名 (単独)
  - 証券コード 6946
  - 拠点所在地
    - 本社 横浜市都筑区池辺町4475番地
    - 横浜事業所※ 横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2
    - 新横浜事業所 横浜市都筑区池辺町4206番地
    - 中部支店 名古屋市中区丸の内三丁目17番6号
    - 西日本支店 大阪市淀川区西中島一丁目11番16号
    - 福岡営業所 福岡市博多区比恵町二丁目24番606号
- (注) ※の事業所が登記上の本店所在地となります。
- 子会社
    - 福島アビオニクス株式会社
    - 福島県郡山市待池台一丁目20番地

## 役員の状況 (2020年10月31日現在)

- ### 取締役
- |       |       |
|-------|-------|
| 代表取締役 | 竹内正人  |
| 取締役   | 山後宏幸  |
| 取締役会長 | 呉文精   |
| 取締役   | 延岡健太郎 |
| 取締役   | 加藤精彦  |
| 取締役   | 稲垣伸一  |
- (注) 呉文精、延岡健太郎および加藤精彦の各氏は、社外取締役であります。

- ### 監査役
- |         |       |
|---------|-------|
| 監査役(常勤) | 篠田亨   |
| 監査役     | 千原真衣子 |
| 監査役     | 木邨系紀  |
- (注) 篠田亨、千原真衣子および木邨系紀の各氏は、社外監査役であります。

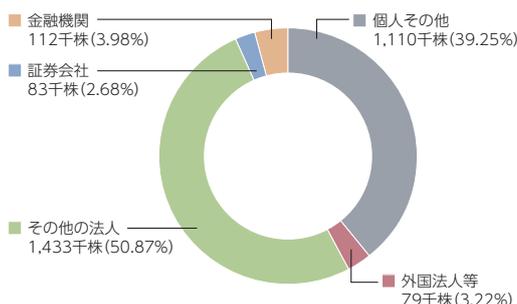
- ### 執行役員
- |        |       |
|--------|-------|
| 執行役員社長 | 竹内正人※ |
| 執行役員常務 | 上田勇   |
| 執行役員   | 山後宏幸※ |
| 執行役員   | 井田徹   |
| 執行役員   | 吉井徹   |
| 執行役員   | 新屋明彦  |
| 執行役員   | 大島宏之  |
- (注) ※の執行役員は、取締役を兼務しております。

## ○ 株式の状況 (2020年9月30日現在) Stock Information

|                         | 普通株式    | 第1種優先株式 | 第2種優先株式 |
|-------------------------|---------|---------|---------|
| (1) 発行可能株式総数<br>8,000千株 | 7,600千株 | 4,000千株 | 1,500千株 |
| (2) 発行済株式総数<br>5,073千株  | 2,830千株 | 783千株   | 1,460千株 |
| (3) 株主数                 | 3,751名  | 1名      | 1名      |

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。  
2020年8月31日付で、日本電気株式会社より取得した優先株式を以下のとおり消却したことに伴い、発行済株式総数は57,000株減少しております。  
第1種優先株式：17,000株  
第2種優先株式：40,000株

## 所有者別分布の状況 (普通株式)



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当金 毎年3月31日  
 中間配当金 毎年9月30日  
 その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 0120-782-031  
 (インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社ホームページに掲載します。  
<http://www.avio.co.jp/ir/index.html>  
 ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様  
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様  
⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。



日本アビオニクス株式会社

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4475番地  
 TEL. 045-287-0300 <http://www.avio.co.jp/>

